

- 問1 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群に含まれ、5世紀頃に築造された日本最大の前方後円墳として知られる、当時のヤマト政権の強大な勢力を象徴する古墳はどれか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 箸墓古墳 2. 稲荷山古墳 3. 高松塚古墳 4. 大仙古墳 (伝仁徳天皇陵)
- 問2 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島から日本列島へ移り住み、大陸の高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 防人 2. 渡来人 3. 遣隋使 4. 御家人
- 問3 熊本県に位置する前方後円墳である江田船山古墳からは、金象嵌 (きんぞうがん) で文字が刻まれた鉄刀が出土しています。この鉄刀に「ワカタケル大王」の名が刻まれていたことは、当時の日本におけるどのような政治状況を証明するものとして重要視されていますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 九州地方に、近畿地方とは異なる独立した強力な国家が存在したこと 2. 大陸から伝わった仏教が、九州地方で最初期に受容されたこと 3. ヤマト王権の勢力が、九州地方にまで及んでいたこと 4. 縄文時代の交易ルートが、九州から関東までつながっていたこと
- 問4 古墳時代の日本列島において、大陸から移住した渡来人が果たした役割と、彼らがもたらした文化的影響について述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 稲作の技術を初めて伝え、狩猟・採集中心の縄文文化から弥生文化への転換を促した。 2. 青銅器を用いた祭祀の道具を伝え、卑弥呼が統治する邪馬台国の成立を助けた。 3. 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。 4. 鉄砲の伝来に寄与し、戦国大名の戦い方や城の構造に劇的な変化をもたらした。
- 問5 世界の歴史において、7世紀初頭にムハンマドがイスラム教を創始した時期、日本において行われていた政治体制や社会状況として正しいものはどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. 大王を中心として近畿地方の豪族で構成された大和政権による統治が行われていた。 2. 卑弥呼が「親魏倭王」の称号を授かり、邪馬台国が30余りの国を従えていた。 3. 北九州の「倭の奴国の王」が、後漢の皇帝から金印を授かっていた。 4. 平城京が建設され、律令に基づいた中央集権的な国家体制が整備されていた。
- 問6 古墳時代の日本列島では、海外から高度な技術や文化を持つ人々が移り住み、社会の発展に大きな影響を与えました。高温で焼く硬い灰色の土器である「須恵器」の技術を日本に伝えた、朝鮮半島などから移住してきた人々を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 遣隋使 2. 防人 3. 渡来人 4. 地頭
- 問7 熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀と、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、いずれも「ワカタケル大王」の名が刻まれていました。この事実から推測される、5世紀ごろの大和政権の勢力範囲に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。 2. 大和政権の勢力は、大陸の影響を強く受けていた九州地方のみに限定されていた。 3. 大和政権の勢力は、東北地方から九州南部に至る日本列島のほぼ全域を支配していた。 4. 大和政権の勢力は、近畿地方とその周辺の非常に狭い範囲に限定されていた。
- 問8 古墳時代に朝鮮半島から渡来人が渡ってきた時期の文化についての説明として、渡来人が伝えた土器の特徴を表しているものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 低温で焼かれた、あつ手で褐色の縄文土器 2. 表面に縄目の文様がつけられた深鉢形の土器 3. 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器 4. 薄手でかたく、赤褐色をした弥生土器
- 問9 大和政権が朝鮮半島や中国大陸から移り住んだ人々を厚遇し、積極的に組織へ組み込んだ理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 大陸の優れた土木技術、金属加工、文字の知識などを取り入れ、政権の支配力を強めるため 2. 遣唐使を派遣する代わりに、大陸の役人を招いて日本の政治制度をすべて中国風に改めるため 3. 地方の豪族が持っていた鉄器の製造技術を独占し、天皇の権威を否定させるため 4. 狩猟採集中心の生活から、初めて稲作を中心とする社会へと移行させる必要があったため
- 問10 「大陸の王朝の力を利用して国づくりをはじめた」とされる5世紀の倭の王について、当時の国際情勢と外交方針を述べた文として正しいものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 足利義満が明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、勘合貿易を開始した 2. 聖徳太子が遣隋使を派遣し、中国の皇帝と対等な外交関係を築くことを目指した 3. 元 (モンゴル帝国) の侵攻に備えるため、高麗と協力して大陸の情報を収集した 4. 倭の王は南朝へ朝貢し、朝鮮半島南部における立場を有利にするための承認を求めた
- 問11 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 渡来人 2. 御家人 3. 防人 4. 遣隋使
- 問12 5世紀ごろ、大和政権 (ヤマト王権) の支配が関東地方や九州地方まで及んでいたことを示す歴史資料があります。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に、その名が刻まれていた人物として正しいものを選びなさい。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
1. 卑弥呼 2. 聖徳太子 3. ワカタケル大王 4. 中大兄皇子
- 問13 古墳時代、各地の有力者が巨大な墓を造りました。その中でも、上から見ると鍵穴のような独特の形 (一方が四角形で、もう一方が円形) をした、日本独自の形式の古墳を何と呼びますか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 円墳 2. 方墳 3. 前方後円墳 4. 装飾古墳
- 問14 4世紀から6世紀ごろにかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、当時の日本に欠けていた高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 御家人 2. 遣隋使 3. 渡来人 4. 防人